

## ■総合内科

### 1. 2021年度の目標および方針

総合内科は、2004年4月1日に発足以来17年を経過した。多くの優秀な研修医、指導医の貢献、さらに院内各部署のサポートをいただき、飛躍的に発展している。2010年に八重樫が部長職を引き継ぎ、2014年に感染症科が発展的な独立・分離した際に総合診療科から総合内科に改称したのちもその傾向は変わらない。今後とも佐藤暁幸副院長・蛭子洋介部長代理・伴浩和部長代理・吉田明人医長・樋口直史医長・江口忠志先生と後期研修医達と協力し質の高い医療を提供する中で、患者さんのニーズを満たす医師を数多く輩出する。エビデンスに基づいた診療の実践では、大病院の総合内科としては、日本一の総合内科と自負している。今年度も全国的な知名度を活用し、実際に見学に来た学生・研修医が感銘を受ける程の教育を行っていく。

具体的目標としては、次の通りである。

#### 1) 初期研修医教育プログラムへの貢献

①病棟診療、②初期研修医教育、③外来診療、④救急研修、⑤安房地域医療センター等関連病院の診療

#### 2) 後期研修プログラムへの貢献

①後期研修医の育成、②学会発表・研究・執筆、③内科系後期研修医の教育、④レクチャー、⑤会議

#### 3) 地域医療への貢献

#### 4) 総合診療教育部としての貢献

### 2. 2020年度の評価

2020年度も、当初計画を達成した。雑誌Hospitalist、米国内科学会日本支部、JHospitalist Network等を通じて全国に情報発信もできた。

### 3. 総合内科の業務紹介、スタッフ数など

#### 1) 業務紹介

##### ①入院診療

亀田総合病院の総合内科に入院する多彩な患者さんに対する患者診療。内科夜間緊急入院の1/3(準夜帯)から1/2(深夜帯)の入院は総合内科入院となっており、最多の患者さんを入院診療している。

##### ②外来診療

・亀田クリニックの総合内科外来を受診される患者診療

#### 4. 年間活動内容と業績の「4) 予防接種本数」参照

##### ③教育活動

- ・入院診療における初期研修医教育
- ・外来診療における初期研修医教育（土曜日）
- ・入院診療における後期研修医教育
- ・入院診療における医学生（国内・国外）教育
- ・外来診療セミナーの開催
- ・救急 walk-in 診療における初期研修医教育

④併診等の他科サポート：2012年度は神経内科・救急救命科、2013年度は消化器内科（再度2016年度から）、2014年2月から2018年4月は泌尿器科、2017年3月から腫瘍内科、2018年からは腎臓高血圧内科等、当該疾患の入院患者の入院診療を総合内科で担うよう依頼に応じて院内の他科のサポートを行っている。

また、総合内科による入院依頼及び他科入院患者さんの併診も**2020年度は 1642例 依頼**を受け、他の診療科に貢献している。

## 2) スタッフ数（2021年4月1日時点）

### ①指導医

夏目隆史教育顧問、八重樫牧人部長、佐藤暁幸部長、蛭子洋介部長代理、伴浩和部長代理、吉田明人医長、樋口直史医長、江口忠志医院、片山充哉医師（非常勤）、佐田竜一医師（非常勤）

#### <八重樫牧人 部長>

1997年弘前大学卒、亀田総合病院での初期研修、沖縄海軍病院での研修を経て、ニューヨークのSt. Luke's-Roosevelt病院で内科研修、ニューヨーク州立大学で呼吸器内科フェローシップ、ピッツバーグ大学病院で集中治療フェローシップを修了、2006年より当科勤務。2013年創刊の雑誌Hospitalistの編集委員として全国的な知名度の向上に寄与している。2020年より東京医科歯科大学臨床教授兼任。

#### <佐藤暁幸 副院長>

2002年慶應大学医学部卒業、2004年に亀田で総合診療科の創立に関わり、2006-2008年には地域医療振興協会を通じて湯沢などで地域医療に造詣を深め、2008年より当科に戻り、入院・外来・見学・外来診療セミナー等幅広い活躍をしている。2016年のいすみ医療センター出向から2017年に復帰し活躍している。2020年より亀田クリニック副院長となる。

#### <蛭子洋介 部長代理>

2005年京都府立医科大学卒業、2013年7月 ニューメキシコ大学 感染症科 フェローシップ プログラム・2015年 内科 レジデンス プログラム、2018年7月 ジャクソン記念病院、マイアミ大学 移植感染症科 フェローシップ プログラムを経験し、2019年8月から亀田 総合内科・感染症科にスタッフとして加

わる。米国内科専門医かつ感染症専門医として研修医教育に多大な貢献をしている。

<伴浩和 部長代理>

2006年鳥取大学卒業、2012年—2015年ニューヨークのMount Sinai Beth Israel病院内科研修、2015-2017年Maryland大学感染症科研修、2018年1月から亀田 総合内科・感染症にスタッフとして加わる。米国内科専門医かつ感染症専門医として診療と研修医教育に多大な貢献をしている。

<吉田明人 医長>

2010年金沢大学医学部卒業、研修、2019年8月から亀田 総合内科医長として着任、スタッフとして加わる。診療と研修医教育に多大な貢献をしている。卒後研修センター長補佐兼務。

<樋口直史 医長>

2013年昭和大学卒業、多摩医療センターで初期及び救急研修、2019年4月から亀田 総合内科フェローにして着任、スタッフとして加わる。2020年4月総合内科医長、診療と研修医教育に多大な貢献をしている。

<江口忠志 医員>

2014年北里大学医学部卒業、東京医療センターで初期・総合診療科後期研修。2019年に亀田総合病院に1年間院外研修。2021年4月より在宅診療科兼務でスタッフとして診療と研修医教育に多大な貢献をしている。

・シニアレジデント： 15名 （うち、内科専攻医3名）

2名のチーフレジデント：小田修宏先生と宮崎令奈先生を中心に素晴らしいチームワークを誇る

#### 4. 年間活動内容と業績

##### 1) 入院診療

一日平均入院患者数 **3.9**名

年間延べ入院患者数 **1,440**名

##### 2) 外来診療

総合内科外来診療を担当

一日平均診療患者数 **125.9**名

年間診療実患者数 **37,649**名

総合内科 入院患者数		
2020年度	項目	人数
入院	1日平均入院患者数	3.9
	延べ入院患者数	1440
外来	1日平均外来患者数	125.9
	外来実患者数	37,649

### 3) 教育活動

上記教育業務を遂行した。

### 4) 予防接種本数

2020年度 総合内科ワクチン接種数 1,417本（病院+外来）

[外来で全科共通の専用の接種外来がある、外来でのインフルエンザ予防接種を除いた数字]

名称	回数
髄膜炎菌ワクチン	33
H i b	4
破傷風トキソイドワクチン	37
小児用肺炎球菌（PCV7）ワクチン	13
肺炎球菌	3
インフルエンザワクチン季節性	3
シナジス	3
A型肝炎ワクチン	17
麻疹風疹（MR）ワクチン	3
4種混合ワクチン	2
B型肝炎ワクチン	16
シングリックス1	118
シングリックス2	12
小児用肺炎球菌ワクチン	48
PCV13（プレベナー）	2
インフルエンザ	4
ムンプスワクチン	4
インフルエンザワクチン（季節性）	6
ロタリックス	1
成人用肺炎球菌ワクチン	409
インフルエンザワクチン	558
水痘帯状疱疹ワクチン	121

## 5. 教育・勉強会

- 1) 病棟新入院カンファレンス毎朝
- 2) グラム染色道場：金曜日早朝
- 3) 他職種合同ケアカンファレンス：毎週木曜日
- 4) 医療の質カイゼンカンファ：月1回
- 5) 救命救急科合同カンファレンス：定期月1回
- 6) 在宅合同カンファレンス：定期月1回
- 7) Visiting Professor回診：火、水
- 8) Journal Club：隔週で火曜日朝

## 6. 学術関係

1. 『Microsoft Teams の導入による医学教育、チーム医療連携の変化』吉田明人（亀田総合病院総合内科）竹之内誠志、木村武司/医学教育（一社）日本医学教育学会 会議録 0386-9644 51 巻 2020.07
2. 『自然寛解した感染関連クリオグロブリン性糸球体腎炎と考えた1例』宮崎令奈（亀田総合病院総合内科）日本腎臓学会誌（一社）日本腎臓学会 会議録/症例報告 2020.09
3. 『サラズスルファピリジンによる好酸球性肺炎を疑った1例』大國浩平（亀田総合病院総合内科）日本内科学会関東地方会日本内科学会-関東地方会 会議録/症例報告 2021.02
4. 『【そろそろどうなの?あの薬】PCSK9阻害薬』登石匠、伴浩和（亀田総合病院総合内科）治療(株)南山堂 解説/特集 2020.12
5. 『胸腔穿刺(診断) 漏出性と滲出性を区別し,鑑別を想起して検査項目を選択する』樋口直史、八重樫牧人（亀田総合病院総合内科）Hospitalist(株)メディカル・サイエンス・インターナショナル 解説/特集 2020.09

## 【PubMed】

1. 『Fever With No Elevation In Inflammatory Markers: Herpes Simplex Virus Encephalitis』(炎症マーカーの上昇のない発熱:単純ヘルペスウイルス脳炎) Oguni K, Yaegashi M. QJM PMID : 33486506 2021/1/24

## 【学会】

演題：MKSAP(Medical Knowledge Self-Assessment Program)～必須知識を体得する米国  
流ショートカット!!!から  
発表者：八重樫 牧人、吉田明人  
開催日：2020.9.26～27  
学会名：第21回日本病院総合診療医学会学術総会

演題：MKSAP(Medical Knowledge Self-Assessment Program)～必須知識を体得する米国

流ショートカット!!!から

発表者：八重樫 牧人

開催日：2021.2.19～28 オンデマンド配信

学会名：第 22 回日本病院総合診療医学会学術総会

演題：Mycobacterium abscessus in Solid Organ Transplant over Five years

発表者：蛭子洋介

開催日：2020.5.29～2020.6.4

学会名：米国移植学会総会（American Transplant Congress 2020）

演題：大腸菌による腰椎化膿性脊椎炎及び感染性心内膜炎の 1 例

発表者：中居杏奈、江口忠志、吉田明人

開催日：2020.8.8

学会名：117 回日本内科学会総会

演題：伝染性単核球症により脾梗塞を合併した 1 例

発表者：中込峻、吉田明人

開催日：2020.9/13

学会名：日本内科学会 第 662 回関東地方会

演題：糖尿病ケトアシドーシス発症時に内因性インスリンが枯渇していなかった急性発症 1 型  
糖尿病の 1 例

発表者：瀧澤裕樹

開催日：2021.2.7

学会名：日本内科学会第 666 回関東地方会

演題：高血糖の是正により症状消失した MRI 正常糖尿病性舞踏病の一例

発表者：小田修宏

開催日：2021.1.30

学会名：第 58 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会

演題：MKSAP 発表

発表者：佐藤允俊

開催日：2020.9.26

学会名：日本病院総合医学会